

キャラクター名
志刃 凌我(しば りょうが)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン		ワークス	FHチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	42 %	
出自	結社の一員	経験	仲間の死	邂逅	愛情(欲望)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2		0			2	行動値	7
感覚	1		0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	1		0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2	10	交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
攻撃	RC	5r+12		23		対象のガード値-5、80%で範囲攻撃
攻撃(100%)	RC	8r+12		37		装甲無視、ガード値-5、範囲攻撃
攻撃(10000%)	RC	14r+12		37		100%にフルインストール使用

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
遺産「欲望の姫君」	P	N		
湍上 骸(ふちがみ むくろ)	P	友情	N	憎悪
ユウナ	P	慕情	N	悔悟
	P		N	
	P		N	
	P		N	
	P		N	

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ハードワイアード	5	4	常時		自身			
効果:	RCガード×5							
濃縮体	1		インパル					
効果:	砂の刃のレベルを倍にする。							
砂の刃	6	2	Xジャー	視界	-	RC		
効果:	攻撃力LV+2の射撃攻撃。対象のガード値-5							
虚構のナイフ	3	3	Xジャー	-	-	精神		
効果:	攻撃力+【LV*3】。組み合わせ専用							
確定予測	3	4	Xジャー	-	-	シンドローム		
効果:	目標の回避のC値+2。シリアLV回							
神機妙算	1	3	Xジャー	-	範囲(選択)	シンドローム	80↑	
効果:	対象を範囲選択に。シリアLV回							
クリスタイズ	2	4	Xジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果:	攻撃力+【LV*3】、装甲無視							
フルインストール	1	5	インパル	至近	自身	自動	100↑	
効果:	判定ガード+【LV*3】。シリア一回							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「俺が直々に裁きを下さ、貴様はこの運命から逃れられない……ジャッジメント!!」
 FH時代は仲間からはリョウガ、UGNからはクローライトと呼ばれていた。モルモットとノイマンのクロスブリード(自己申告)

6歳の頃に不幸な事故(0)に遭い、孤児院に預けられる。だが実際は「欲望の姫君」を生み出す大樹を抱えていたFH世『10000%』が適合者を集めるために仕組んだものであり、預けられた孤児院もセルの研究所であった。この時に適合率を上げるためにチップなど一部機械化を施されたが、本人は記憶にない。この研究所がどれほどブラックかと言うと、孤児院での戦闘訓練の相手は実験でジャム化した子供、しかも訓練には困らない程抱えていたという。もちろん彼は素敵な孤児院だと思っている。

この孤児院に預けられた子供は、預けられて最初の誕生日に特別な食べ物として「欲望の姫君」を与えられて契約が完了、晴れてモルモットとして、セルの手駒としてふさわしい子供となる。この誕生日をきっかけに、ムクロという子供と仲良くなったのだが、彼は一年もしないうちに里親が見つかったとかで何処かへ行ってしまった。

偽りの愛情と本当の仲間に囲まれた彼は立派なエージェントに育ったが、ある日、コードウェル(あるいはリエゾンロード)に敵対したことを理由にマスターレイス(リエゾンエージェント)が襲撃、自身も応戦するが敵わず、孤児院であったセルも家族同然の仲間も失う。意識が途絶える寸前で見えた彼の素顔は、10年前にいなかったムクロだった。会いたかった人物に再開した喜びと、その人物に大事な仲間を殺された怒りや悲しみから、姫君との適合のためだけに与えられたブラックドッグの能力が完全覚醒、彼を撤退まで追い込む程の力を獲得する。このような経緯もあって、自分がブラックドッグの能力を持っていることを話さず、能力も使いたがらない。

現在はムクロの足取りと、彼を操っている黒幕を倒しムクロと「あの頃の関係」に戻るべく、FHやギルドから依頼を受けて行動している。

余談だが、欲望の姫君によって小さなおもちゃを何故か集めてしまっている。